

ヤマビルによるなかなか止まらなかった出血が たった一粒のレメディーで止血できたケース

森下千秋

日本ホメオパシーセンター湘南藤沢鵜沼（CH1 期卒）

JPHMA 認定 ホメオパス #878

ZEN メソッド修得認定 #228

JPHF 認定 インナーチャイルドセラピスト #009

JPHF 認定 フラワーエッセンス療法士 #004

JPHF 認定 スピリチュアル・フィットセラピスト #005

【要約】

足首の外側をヤマビルに吸われ、なかなか止まらなかった出血が
『災害対策キット』の中のたった一粒のレメディーで止血できたケース

【主訴】

20 代 大学生 （娘のケースです）
ヤマビルに吸われ、血がとまらない

【経緯】

2024 年の秋
湧き水を汲みに、丹沢の山の近くへ行った時に、
帰り際、娘が足首の外側をヤマビルに吸われているのに気づきました。

すぐにヤマビルを取り除き、持っていた『災害対策キット』の中から
『粒）Calen.（カレンデュラ）』のレメディーをとらせたのですが、
リピートしても出血がなかなか止まりません。

調べてみるとヤマビルの唾液には、血液の凝固を妨げる作用があり、
出血が長く続くことがあるということがわかりました。

血液の凝固を妨げるといったら『ヘビ毒』（!!!）。

そこで『災害対策キット』の中から
『粒）Lach.+Hab+Crot-h.（ラカシス・ハブ・クロタラスホリダス）』
という名前の『ヘビのコンビネーション』のレメディーをとらせましたら
なめ終わる前、一瞬ですぐに血が止まりました。

【選択・根拠】

ヤマビルは雨の日やその後の湿気があるような日に動きが活発らしく湧き水を汲みに行った場所が、山の近くであることにより枯れ葉や湿気があり、ヤマビルが出没しやすい条件がそろっていたと思われる。

吸血時に、痛みを感じにくくしたり、吸血に気づきにくくなるようヤマビルの唾液には『ヒルジン』という成分が含まれており、血液の凝固を妨げる作用があり、出血が長く続くことがあると知り、血液の凝固を妨げるといったら『ヘビ毒』（!!!）。ということで『粒）ヘビのコンビネーション』のレメディーをとらせました。

【結果】

『粒）ヘビのコンビネーション』のレメディーをとらせましたら、全然止まらなかった出血が、なめ終わる前、一瞬ですぐに止まりました。

【考察】

『ヘビ毒』の中には、血液の凝固を妨げる作用のあるものと血液の凝固を促進する作用のあるものがあるが、今回とらせたのは『粒）ヘビのコンビネーション』であったことからヤマビルの血液の凝固を妨げる作用に『同種』となり奏功したと思われる。

出血時、傷口は蚊に刺された程度の大きさであったにもかかわらず、ティッシュがみるみる赤く染まっていき、次から次へと出血が続き、『粒）Calen.（カレンデュラ）』のレメディーをとらせても、ぜんぜん止まる心配がない時には、救急へ行くことも頭に浮かんだ。

だが『もしや、止まりにくくなってる理由があるのでは。。』と調べ、ヤマビルの唾液に血液の凝固を妨げる作用があることがわかり、『同種』である『粒）ヘビのコンビネーション』をとらせたことで全然止まらなかった出血が、一瞬ですぐに止血ができたと思われる。

『災害対策キット』を携帯していて、本当によかったと思ったケースです。

登山が好きなかたや、ヤマビルに出会いそうな場所へ行くかたに、一瞬で止血できたこのケースが、一助になりましたら幸いです。

参考文献： 『ホメオパシー的 災害対策』 由井寅子先生：著